

ヨーロッパ近現代史

科目ナンバリング EUS-201
選択 2単位

能勢 和宏

1. 授業の概要(ねらい)

留学を行う前に何を準備しておけばいいでしょうか?もちろん語学力は大切ですが、留学先の文化と歴史を知っておくことも非常に重要です。ヨーロッパ各地にある様々な史跡を実際に自分の足で訪れ、自分の目で見る経験は、留学をより実りあるものにしてくれると確信しています。

そのようなヨーロッパへの留学を前提として、本授業ではフランス・ドイツ・スペインの3か国の歴史を学びます。特にこれらの3つの国が異なる歴史を歩み、現在に至っていることを学びます。補助的に映画を用いて、現在のフランス・ドイツ・スペインの状況についても理解を深めていきます。

2. 授業の到達目標

フランス・ドイツ・スペインの国家形成過程を知る。
現在の国際社会のあり方を歴史的視座から捉えることができる。
留学先の歴史・文化を自発的に学ぶ姿勢を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト:30%
期末試験:70%

4. 教科書・参考文献

参考文献

福井憲彦 教養としてのフランス史の読み方 PHP研究所
森井裕一(編著) ドイツの歴史を知るための50章 明石書店
立石博高・内村俊太(編著) スペインの歴史を知るための50章 明石書店

5. 準備学修の内容

これまでヨーロッパの歴史に全く触れてこなかったという受講者は、事前に高校世界史教科書の該当部分に目を通して置いて下さい。
外国語学科の学生にとっては、歴史を学ぶ機会はそのままで多くないと思われるので、予習よりも復習を重視して下さい。

6. その他履修上の注意事項

受講に当たって事前知識は必要としていませんが、わからない箇所があれば積極的に質問を行って下さい。
授業中の質問にためらいがあるようであれば、授業終了後、あるいはオフィスアワーに遠慮なく教員に尋ねてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
授業の概観、成績評価方法の説明
フランス・ドイツ・スペインの基本情報の比較
- 【第2回】 ヨーロッパは一つのまとまりか?
EUによって一体化するヨーロッパの現状
- 【第3回】 フランス革命の意味
フランス王国からフランス共和国へ
- 【第4回】 「一にして不可分な共和国」
ライシテの確立
- 【第5回】 「ベル・エポック」
なぜパリは「花の都」たりえたか?
- 【第6回】 フランスに関する映画鑑賞と小テスト
- 【第7回】 ドイツ帝国の形成
プロイセンの台頭とドイツの「統一」
- 【第8回】 ナチス・ドイツ
ナチの台頭と今日のドイツにおけるナチの記憶
- 【第9回】 ドイツの分裂
東西への分裂と再統一
- 【第10回】 ドイツに関する映画鑑賞と小テスト
- 【第11回】 スペイン王国の栄光と衰退
大航海時代から米西戦争まで
- 【第12回】 スペイン内戦とフランコ政権
独裁国家スペインの歴史
- 【第13回】 スペインのヨーロッパへの復帰
フランコ独裁の終焉とカタルーニャ・バスクにおける独立運動の高まり
- 【第14回】 スペインに関する映画鑑賞と小テスト
- 【第15回】 まとめと試験